

## 令和7年度第3回朝霞市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和7年11月7日（金）  
午後2時から

場 所：ゆめぱれす（朝霞市民会館）  
201会議室

### 1 開 会

### 2 議 題

- （1）子ども・子育て支援事業計画（令和6年度分）の評価について
- （2）その他

### 3 閉 会

「支援事業」評価・コメント一覧

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
5	幼児期の学校教育・保育の提供	A	A	A	B	C	D	他
				19	5	1		
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・受入れて定員は確実に増えているので評価できると思います。今後はマンション等の建設が多く予定されているとのことなので、見込みを出すのは大変かと思いますが、市役所の舵取りに期待します。</li><li>・昨今では、共働きが増え、保育園はいっぱいで幼稚園は園児確保の課題があります。今後はもっと、保育園と幼稚園の連携も必要になってくるのではと思います。</li><li>・待機児童解消に向けて小規模施設が開所するため。「推進に対する課題」に「待機児童の解消に至っていない」とあるが、待機の理由が対応可能なのかどうか具体的に明記されているとよい。</li><li>・待機児童解消に向けて、小規模保育施設を1施設開所するなど着実に進捗している。今後も待機児童の解消を期待したい。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・待機児童解消に向けて小規模保育園開設等着実に進捗しているように感じる。</li><li>・制度設計及びその運用において、適切な進捗が認められる。</li><li>・待機児童の解消に至っていないが、適切な定員設定（0歳児の受け入れ人数減と翌年の1歳枠受入増）を考慮するなど、実態に即して待機児童解消に向けた取り組みを進めている。なお、園庭のない保育所が子どもの発達に及ぼす影響については、慎重に考える必要がある。加え、保育所においては入所者数が漸増する中で、保育の質の担保、保育士の専門性確保を同時に検討していくことも重要である。</li><li>・公立、民間の各施設を合わせて、総合的に必要利用定員数の枠確保にいろいろな施策展開をなされている。待機児童解消に向けては、原因の深堀と効果的な対応を望みます。</li><li>・自己評価のとおりで問題ない考える。一方で顕在化していない待機児童が一定存在するものと考えられるため、実態把握にもつとめていただきたい。</li><li>・計画通りに保育所開所を実施したり、定員の見直しをしたから。ただし、受入定員よりも入所児童数は少ないにもかかわらず、待機児童が出ているため、昨年も、待機児童の発生要因を分析して、待機児童の解消を望むとコメントしましたが、まだ、されていないようです。ぜひ、お願いします。</li><li>・取り組みについてはA評価といたしますが、事業の実施により得られた成果の内容が保護者・児童の件数がわからないので、保護者・児童別データを表記していただきたいです。</li><li>・R6の受入入所定員の0歳児人数を減少させ、R7の1歳児入所受入増につながっており、事業とその成果が結びついている点。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・待機児童が0になって初めてA評価になると思う。5歳児受入れの園を減らし低年齢受入れにするなど検討が必要。</li></ul>							

- ・次年度に向け新たな施設の開所手続きに取り組んだことは評価すべきところだが、待機児童が依然としてある状況の中で、3号認定の量の見込みを下回る実績となっているため。
- ・一定の児童への教育・保育の提供は行えているが、特に2号認定の児童に対する確保が不十分、量の見込みの見直しも進んでいない。
- ・幼稚園で延長保育をしていることの説明や、保育園、幼稚園をうまく活用できるような情報が家庭に届いていないように感じる。
- ・待機児童が減少してきているとは言え、身近な人たちの中からは保育園に落ちたという声が聞かれます。入れなかった家庭にはシッターサービスをするといった様な工夫も必要かなと思います。

【C評価】

- ・地域ごとのニーズに合った対策が必要。事業名が教育・保育の提供なので待機児童解消が課題になっているのかもしれないが、教育・保育の質、子どもの人権などの課題が挙げられていない。

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(1)	延長保育事業（時間外保育事業）	A	A	A	B	C	D	他
				24	1			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの保育施設が12時間以上の開所時間なので評価できると思います。</li> <li>・市内で72の保育施設が延長保育を実施し、午後8時までの実施数18は共働き世帯にとってありがたいと思う。</li> <li>・保育園のみの評価では、Aですが、転勤などでやむを得ず幼稚園にしか入れず、幼稚園にしか入れないのでフルタイムで働くことができない人も一定数います。その場合幼稚園での延長料金が負担になっている方も多いです。</li> <li>・自己評価が妥当。</li> <li>・延長保育実施施設が増加しているようなので。</li> <li>・サービス提供者（保育所等）との協業により、可能な限りのサービス向上を図っている。</li> <li>・確保の内容を上回る実績があるため、評価は妥当と考えます。ただし、延長保育が広がることによる、“保育者の負担増”も今後の保育者の安定的な確保のために欠かしてはいけない視点だと考えます。</li> <li>・安定的な事業提供ができています。また、保護者ニーズに即して時間延長するなどの進捗も見られる。一方で、利用者の中には自己都合により安易な利用も存在することや、ここ数年、延長保育料の在り方も検討課題として取り上げられている。しかしながら、具体的に推進すべき課題が前進しているという認識はない。また、各園から延長保育時の保育者の確保及び安全管理上の課題について情報を収集・把握し、延長保育の質についても継続的な検討が重要である。</li> <li>・長期に亘り、保育士の人員確保が難しい状況が続いている。その中で、市内の全保育施設で、保育時間の延長が図れていることは評価できる。延長保育料の検討だけでなく、保育士の働く環境の向上も図っていただきたい。</li> <li>・自己評価のとおりで問題ない考える。保育士の確保とのバランスを考えながら引き続き対応していただくことを期待する。</li> <li>・計画通りに、延長保育が実施されたから。</li> <li>・働く保護者にとって延長保育はかなり助けになっていると思います。</li> <li>・延長保育事業（時間外保育事業）は量の見込みと確保の内容について毎年増加しているが、緊急の受け皿としては必要かと思うが、ワークライフバランスの観点や子どもの育ちの観点からすると増加することは好ましくないと思います。</li> <li>・R2～見込みと実績に乖離があるままなのが気になりますが、時間延長により助かったご家庭は多いと思います（日／年対比で延長時間は延びているのでしょうか？）。</li> </ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者目線ではまだまだ足りていないと思います。</li> </ul>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(2)	放課後児童クラブ	C	C	A	B	C	D	他
				3	7	15		
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学校低学年のニーズは今後も増えると思われます。放課後児童支援員・学童支援員さんの資質が下がる事の無いよう、人材不足の中配慮していく必要があると思います。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・4～6年生の入所希望に対処できていないのが現状だと思います。民間の誘致など定員の拡大に努力はしているものの、入所希望者に追いつかないということで致し方ないと思う。</li><li>・2小6小の生徒をランドセル来館で受入れができていたのであれば、Bでもいい気がします。もしくは2小6小エリアの子を10小に送迎する etc もいいのでは？</li><li>・民間クラブの定員拡大など、対策はしているが入所待機者数は増加している。放課後子ども教室の実施等期待したい。</li><li>・民間事業者の協力を仰ぐ必要がある場合、自治体に求められるものは結果より過程にあると考えます。過程としては進捗があったと思います。</li><li>・待機児童の解消には至りませんが、確保の内容を上回る実績であるため、B評価と考えます。待機児童が増加している根本的な課題については、要因の把握および計画的な別の対策が必要であると思います。</li><li>・入所待機者が多いということは、それだけ良く評価されているということなのでそれ自体が悪いとは思えませんが、入所者数に大きな変化がないためBとさせていただきます。</li></ul> <p>【C評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全く足りていない状態の上、市が策定すべき放課後児童クラブのマニュアルがなく、問題が起きた時の対応についてばらつきがある。ただ、子供の居場所事業として学校の先生にも理解をされていない部分もある。という当事者の意見がありました。</li><li>・定員拡大や事業所の増設などを行っているが、入所待機者数が増えている。市としては、放課後こども教室の実施や児童館のランドセル来館など、十分に出来る限りの対策を行っていると思う。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・待機児童対策が進んでいないように感じるため。</li><li>・保護者との連携、子供の人権からの保育の質、ICT化など課題が多い。</li><li>・課題である入所保留児童の解消の期待。</li><li>・1、2年生で入所できない状況の改善は必須ですが、3、4年生が入れなくても良いという訳ではありません。家庭が望むなら何年生であっても入れる状況を目指してください。</li></ul>							

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・民間事業者が運営するクラブを誘致するなどの整備を行っているが待機者数は大幅に増加している。学区によるバラつきもあるようだが、需要と供給の調査に基づく、計画的配置を継続して進めていく必要がある。なお、受け入れに伴うクラブ内の在り方（過ごし方）について、発達段階や安全性を含め継続的な取り組みの振り返りも必要である。</li><li>・民間クラブの拡大等の努力は評価する。ただ、本来の全学年対象の観点では、実際の入所待機者数はもっと多い。また、各学校での施設借用の制限、１００名以上のクラブも多く、管理上の課題も多い。職員の確保も長期に亘っている。</li><li>・自己評価にもあるとおり、入所待機者の絶対数の増加は対処すべき。引き続き民間クラブの活用を進めていただきたい。</li><li>・定員の拡大を図ったが、待機者がいるため。小学校ごとに需要にばらつきがあるなど難しい点が多いと思いますが、親が就業継続していくために必要な事業であるとともに、子どもたちの成長にとっても大切な役割を果たしていると自分の子どもが利用していた経験からも感じますので、ぜひ、待機者が０になることを望みます。</li><li>・学校内に設置されている学児においては、待機児童はもちろんですが、通っている子ども達の中から様々な声が聞かれます。そして、辞めてしまう子も多いように思います。いろいろと大変なこともあると思いますが、安心して楽しく過ごせる場所により一層なっていけるといいと思います。</li></ul> |
|--|--|

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(3)	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	A	A	A	B	C	D	他
				2 3	2			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10世帯の委託契約があるとのことで目標値を上回るので評価できると思いますが、本当に必要なところに手が届いているか検証は必要だと思います。</li><li>・委託里親を増やすため、ショートステイ事業と里親制度の普及啓発は今後も続けてほしい。</li><li>・量と見込みと実績の数だけでは本当の問題は見てこないと思います。どれだけ周知されているのかの対策や数値もあっていいのではと思いました。</li><li>・利用希望者数と実際の利用者数を比較できるとよい。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・着実に里親制度の普及啓発を行っているため。</li><li>・着実に進捗していると思います。また、市民によって選ばれた市議会議員（24名）の方たちに里親になるようなご提案をしてみてもいいかがでしょうか。里親はあくまで自由意志でなりたい方がなるものですが。</li><li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。</li><li>・令和3年から令和4年の利用実績が上昇し、令和6年もほぼ同数で推移し、着実に事業は展開されている印象を受ける。里親の委託契約が10世帯とあるが、委託契約する里親の増加を目指し、役所にPRパネルを設置したとのこと。効果はあったのだろうか？</li><li>・展開が難しい事業であるが、必要数を満足する委託契約世帯の確保は評価できる。ショートステイ事業、母親制度の認知度は十分といえず、広報の強化が必要。</li><li>・自己評価のとおりで問題ないを考える。このような制度の存在は重要。引き続き制度維持に努めていただくことを期待する。</li><li>・ニーズに対応できていると思われるため。委託里親の確保のためだけでなく、必要な人に事業を知ってもらえるように広報を継続することを望みます。</li><li>・保護者の疾病はいつ何時起こるかわからないので、緊急時のサポート事業として必要な事業だと思います。</li><li>・こちらで初めてこの取組を認識しました。とても素敵だと思います。里親確保、また必要な人に認知が広がるよう、より広報に力を入れてほしいと思います。安定した定量の事業となっているためAとします。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・普及啓発がまだまだ足りていないと思います。</li><li>・地域の中での認知度が低いように思います。委託里親の確保のためにも周知の工夫が必要だと思います。</li></ul>							



事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(4)	乳児家庭全戸訪問事業	A	A	A	B	C	D	他
				25				
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ全戸に訪問しているとのことですので素晴らしいと思います。</li> <li>・評価はAとするがこの事業は100%を目指さないといけない事業であると感じます。引き続き100%を目指していくよう強く思います。</li> <li>・全戸訪問について4ヶ月未満だけでなく、その時期に受けられなかった人のため1歳までに訪問できる猶予があるといいと思います。</li> <li>・引き続き全戸訪問により不在だった家庭の把握に務めてもらいたい。</li> <li>・乳児家庭全戸訪問を行うなど、乳児へのケアが進んでいるように感じる。</li> <li>・全戸訪問ということで、それを望まないご家庭もあると思いますが、粘り強く誠実に進められていると思います。</li> <li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。ただし、全戸訪問が100%であるのに対し、会えない乳児・保護者がいることのギャップは課題であると感じます。地道な活動と思いますが、継続的なアプローチをお願いしたいです。</li> <li>・課題の解消を何とか対応いただき、全世帯訪問を確実に行えるようにしてください。</li> <li>・着実に事業が展開されている。なお、常時の不在、再訪問しても会うことができない（拒否がある）場合、健康づくり課のみならず、関連部署と連携をとり、状況把握に努める必要がある。</li> <li>・平成に比べると、令和になり着実に実績を積んできたこと、評価できる。訪問できなかった家庭に、潜在的な理由の把握に努めていく必要が有ると思われる。</li> <li>・自己評価のとおりで問題ない考える。量的な対応は十分にできていると見受けられるため、継続実施とともに質の向上に努めていただくことを期待したい。</li> <li>・我が子の時も来て頂いて、安心した事を思い出しました。中には市（他人）と繋がることを嫌がる保護者もいるかもしれませんが、どこかのタイミングで必ず繋がっていいかなと思います。</li> <li>・乳児家庭全戸訪問事業は今後も朝霞市に転居される家庭が増加傾向とみられ大変な事業だと思いますが、引き続き丁寧に取り組んでいただきたいです。</li> <li>・出生数が確定できていないため、訪問率はまだわからないとのことですが、訪問件数から見て、訪問率が高いと推測されるため。</li> <li>・こちら初めて知りました。良い取組だと感じます。訪問は手段であり目的ではないため、必要なサービスや事業につなげるためであれば、面談（母子手帳交付時）への説明強化だけでなく、それ以外でも認知できるようにした方が良く感じますが、全戸訪問を実施できているためA。</li> </ul>							



事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(5)	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業	A	A	A	B	C	D	他
				20	4	1		
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・数字の実績では評価できますが、隠れたニーズはもっとありそうな気がします。少人数の支援員さんで対処しているのは頭が下がる思いです。</li><li>・20日の見込みに対して12日ということはこのような支援があるという認知が足りないのではないか。</li><li>・要対協家庭だけでなく、産後うつやワンオペで育児に不安が強い家庭にも保護者の希望があれば訪問できると虐待予防につながると思う。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・養育支援家庭の把握、要保護児童対策地域協議会との連携等、児童相談の支援を進めているように感じる。</li><li>・市役所内関連部署と連携して適切に進められていると思います。</li><li>・本事業の導入を試みた世帯及び導入した家庭の事情によりキャンセルが発生したための実績日数減（目標値未達）であることが質問の回答で理解できました。着実に事業の働きかけを行っていることから、評価は妥当と考えます。</li><li>・令和6年度が利用日数は少なかったが支援を要する家庭の把握が十分であったか等、積極的な支援・援助が行えるよう継続的なアプローチや取り組みに期待したい。</li><li>・令和3年41日、令和4年52日、令和5年44日と、コロナ対応が一定の落ち着きを見せる中、事業が確実に展開されている状況から、令和6年度は12日と一転、減少した。要支援が減少することはある意味喜ばしいことだが、ここ数年から見ると事業展開が1／3以下となっている。その背景分析はなされているのだろうか。要保護児童（家庭）の把握に課題があるとすれば、それは事業展開の大きく影響する。</li><li>・自己評価のとおりで問題ない考える。</li><li>・計画通り、事業を実施したから。子どもの養育に支援が必要なすべての家庭に、事業が実施されるために、アプローチ技術が向上されることを望みます。</li><li>・防犯や地域の安全確保のために、幼少青年期のお子さんのトラブルや親子間のトラブルをいち早く見つけ、改善できることが大切だと思います。</li><li>・養育支援訪問事業の導入も検討されたとのことですが、支援員の人数からして充分数の実施が難しいと思います。R6は利用者・日数が少なかったためできた、ではないよう、R7も持続的な事業として量・質の向上に期待してA。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実績が前年度より下がっているのにAはおかしい。毎年1,000人以上赤ちゃんが生まれる朝霞で支援員6人は少ないのではと申しました。朝霞市の民間団体と連携をとっていけたら支援は手厚いのではと思いました。</li><li>・保護児童が漏れることなく支援できるように学校等と連携体制を強化してほしい。</li></ul>							

- ・小学校での不登校、登校渋りの実態を見ると、利用した保護者数は過少ではないか。保護者からの申請を待つだけでなく、小学校や、民生委員、等を巻き込んだ、子どもを見守る環境づくりが早急に望まれる。現状の成果が正しい指標か、疑問。
- ・養育支援が必要であったとしても自ら言えない家庭だったり、見えてこない家庭もあるかと思います。1つでも多く養育支援家庭を把握するためにも市内の子育て関係と繋がるなどの工夫も必要だと思います。

【C評価】

- ・導入が必要と判断した世帯に、理解が得られるよう工夫が必用。

事業番号		自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(6)	地域子育て支援拠点事業	A	A	A	B	C	D	他
				21	4			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・行っている内容も充実していて利用者数も多く評価できます。</li><li>・利用者数も増えており、成果が見られる。子育て支援センターでの一時預かり事業に期待したい。</li><li>・次年度の取り組みについて、細かな話し合いと関係機関との連携に努めていってほしい。</li><li>・子育て支援センターの整備は、着々と進んでいるように感じる。</li><li>・十分な拠点環境が、整えられていると思います。</li><li>・前年度比と比較すると、利用者数は確実に増加しており、有効に機能していることが伺える。</li><li>・利用者数の増は評価できる。ただ、令和2年度以降、施設確保数が目標9に対し、実績8が推移している。これをどう捉えるか。</li><li>・自己評価のとおりで問題ないを考える。子育てに悩む家庭を支援する場として引き続き効果を発揮いただくことを期待する。</li><li>・計画通り事業を実施し、前年より利用者が多かったから。令和7年度以降に実施する予定の一時預かり事業はとてもよいと思います。</li><li>・利用者も増え、一時預かり事業も見据えていること、事業がとても上手くいっている証であると感じるため。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実際に利用する側のニーズに応えられているのかアンケートを実施し、数字で表した方がいいと思います。</li><li>・利用実績が伸びていることは評価に値するところですが、確保の内容はクリアされていません。残る1か所の未整備について、どのように捉えるのかが不明なためB評価としました。</li><li>・さらに行きやすい環境づくりや活用の啓発が必要かと思います。</li><li>・子育て家庭の中で支援センターが苦手で行き場所がないという声も時折耳にします。室内という事で閉鎖的な場が苦痛だったりすることもあるので、積極的に外での開催をするなどの工夫があっても良いかなと思います。</li></ul>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(7)-①	一時預かり事業（幼稚園）	A	A	A	B	C	D	他
				24	1			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・多様な保育ニーズに応えるためにあるべきものだと思います。</li><li>・見込400人／日、実績400人／日で利用者数25，370人？数字が合わないと思うが毎日ではないということ？</li><li>・量と見込みと実績の数だけでは本当の問題は見てこないと思います。どれだけ周知されているのかの対策や数値もあっていいのではと思いました。</li><li>・一時預かり事業を周知できるように進めるとさらに良いと感じる。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・制度設計とその運用が適切に行われていると思います。</li><li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。</li><li>・現行事業の継続に加え、預かり保育利用者・幼稚園双方の観点で課題・ニーズの吸い上げを行うことを期待したい。</li><li>・令和5年の実績は、利用施設21施設、延べ利用者数34，686人であった。令和6年、利用施設19施設、延べ利用者数25，370人である。幼稚園の園児数の減少が、利用減の主たる要因なのだろうか。なお、利用人数で示されているが、幼稚園に所属する園児が、どのくらいの割合で利用しているのか、その動向について把握しているのだろうか？</li><li>・相当数の利用者が有り、必要な施策と考える。制度内容の周知が十分ではないと感じられる。</li><li>・自己評価のとおりで問題ないと考える。子育てに悩む家庭を支援する場として引き続き効果を発揮いただくことを期待する。</li><li>・計画通りに事業を実施したから。施設利用給付の新2号認定者のうち、実際に預かり事業の利用者が、令和6年度は令和5年度から61人減少した理由を把握して、改善につなげてください。</li><li>・幼稚園の預かりが増えたことで、安心して働けたり、リフレッシュ、上の子の付き合いなどできるようになったという声を耳にしています。</li><li>・長期休業中の緊急時預け先として必要な事業だと思います。</li><li>・定量的に安定しているため。利用条件や方法の周知の課題はどういう根拠か気になりますが、量の見込みや実績が変化がないのに…と感じました。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・さらに拡充が必要かと思います。こちらも活用できる情報の普及が足りていないように感じる。</li></ul>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(7)-②	一時預かり事業（保育園等）	A	A	A	B	C	D	他
				24	1			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・定員人数の関係で認可保育園では難しいと思いましたが、公設園でカバーできているようなのでよかったです。</li><li>・どのサービスにおいても、利用者数が増えていて成果がみられる。</li><li>・量と見込みと実績の数だけでは本当の問題は見てこないと思います。どれだけ周知されているのかの対策や数値もあっていいのではと思いました。</li><li>・自己評価が妥当</li><li>・公設園での一時預かりを進めているように感じる。</li><li>・十分な環境整備とその運用が行われていると思います。</li><li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。</li><li>・利用者が増え、順調にニーズにこたえられている。</li><li>・さらに拡充できるように進めてほしいです。</li><li>・着実に事業が展開されている。</li><li>・市の特徴である若い世帯、核家族が多く、共稼ぎ増の中、保護者が困った際に助けてくれる大事な事業である。利用者数が増加傾向であり、評価できる。もっと周知する必要有り。</li><li>・自己評価のとおりで問題ないを考える。子育てに悩む家庭を支援する場として引き続き効果を発揮いただくことを期待する。</li><li>・前年度に比べ利用者数が増えたから。利用条件や利用方法の周知方法について記述するとよいと思います。</li><li>・利用者が様々な理由の場合においても増加しているため。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一時保育の枠を取るのがとても大変だという声を聞きます。預かり先の確保等大変かと思いますが、もう少し枠が広がると良いように思います。</li></ul>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
				A	B	C	D	他
6-(8)	病児保育事業	A	A	19	6			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価が妥当。</li> <li>・就労家庭において、病児保育は必須であるため、この事業の継続的に進めていく事が大切と感じる。</li> <li>・民間医療施設と適切な連携がとられていると思います。</li> <li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。</li> <li>・令和5年度からは横ばい、昨年度の理由を年だけ修正している？</li> <li>・市の特徴である若い世帯、核家族が多く、共稼ぎ増の中、保護者が困った際に助けてくれる大事な事業である。利用者数が増加傾向であり、評価できる。もっと周知する必要有り。医療機関の施設内に在り、安心して利用できる。利用者が増加傾向であり、充実していくことが望まれる。</li> <li>・自己評価のとおりで問題ないを考える。子育てでの有事において家庭を支援する場として引き続き効果を発揮いただくことを期待する。</li> <li>・新規登録者も順調に増え、ニーズに对应されていると思うため。念願の病児保育事業が軌道にのってきて、大変嬉しいです。</li> <li>・新規の登録者・利用者共に増加しているため。今後も増える場合、TMG側の体制は問題ないのか。他受入先はないのか、気になる点です。</li> </ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ所あるだけでも心強いと思いますが、事前登録や事前受診、診断書の用意など緊急を要するときには対応難しいと思います。</li> <li>・大幅に増えてきているのに現行事業の継続では足りないのではないかと思います。数字的にクリアしていると思いますが、まだまだ足りないのではないかと思います。幼稚園や保育園で受け入れていくにも、医師や看護師の確保が難しいのではないかと思います。</li> <li>・知人より「保育園にも通園できず、あちこち連絡したが、受けてもらえず預かってほしい」とこちらに連絡をくれたことがあった。子どもは元気だったのと午睡もしてくれたのでよかったが急な場合はどこまでみてもらえるのか。</li> <li>・拡充と使いやすさを目指してください。</li> <li>・令和5年とほぼ同数の利用実績であり、着実に事業が展開されている。一方で、新規登録は94人（令和5年）から60人（令和6年）となっているが、保護者への周知に課題はないのだろうか？</li> <li>・病児保育室の空きが少ないと聞きました。預け先がなく、仕事を休んだり、熱のある子を仕方なく連れて、上の子どもに合わせなければいけない事もあるようです。共働きやシングル家庭がいざという時のために預けられるとより良いと思います。</li> </ul>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
				A	B	C	D	他
6-(9)	ファミリー・サポート・センター事業	A	A	20	4	1		
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量の見込みに対する評価に留まらず、依頼と提供会員とのマッチングが上手く進まないのはどこに課題があるのか等、対策を講じていく必要があると思う。</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業での提供会員の増加を今後進めていけると良いと感じるが、現状努力しているように感じる。</li> <li>・提供者と依頼者のマッチングサービスが、適切に運用されていると思います。</li> <li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。</li> <li>・提供会員数、両方会員数で285人に対して利用件数が5,038件という結果は、会員の努力が見られる。</li> <li>・会員数（依頼会員／提供会員）が増加し、着実に事業が展開されている。サポート会員の援助の質向上に向けた研修の充実が望まれる。</li> <li>・依頼・提供会員数が共に増加。利用件数に対して、提供会員数の確保が課題。</li> <li>・利用件数が増加したから。サポート会員が少しずつでも増えていることはよいことだと思います。サポート会員を増やすために、以前、依頼会員であって、お子さんが大きくなった方に依頼してみるのも一案ではないかと思います。</li> <li>・より一層周知を工夫すると良いと思います。プレーパークにも資料などを置いて、保護者に届くようにしていきたいです。</li> <li>・ファミサポの認知が進んでいるように感じます。</li> </ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用希望者に対して提供会員数が少ないので更に増えることを期待します。</li> <li>・サービスのシステム化などが必要ではないでしょうか。</li> <li>・需給のミスマッチが拡大している点に対する対策を考え、行動に移していただきたい共助の社会をつくるためにさらなる拡大を期待する。</li> <li>・依頼会員が多いこと自体はそれだけ評価されている事業であることからと感じますが、会議中に質問があったように提供数との乖離が大きいためB。また、これだけ乖離していて量の見込みに変化がないのはなぜでしょうか？課題がサポート会員の拡大とありますが、それだけなのか気になります。現行事業を継続しても変化がないのでは、と感じます。</li> </ul> <p>【C評価】</p> <p>コメントなし</p>							



事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(10)	妊婦健康診査	A	A	A	B	C	D	他
				24	1			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ほぼ100%の方が受けられているので評価できると思います。</li><li>・高い数字を得ているので、その後の支援につながったらいのにと思いました。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・妊婦健診受診の増加、母子の健康管理等を効果的に進めることができているように感じる。</li><li>・適切な制度設計と運用がされていると思います。</li><li>・妊婦一般健康診査公費負担回数及び受診者数について、目標・計画を上回る実績であることから、評価は妥当と考えます。</li><li>・令和5年より、産婦健康診査1回分の追加助成など、着実に成果を残している。</li><li>・健康診査回数、受診率も目標を達成。受診者数は見通しは下回ったが、従来の水準を確保している。</li><li>・自己評価のとおりで問題ない考える。</li><li>・受診率が令和5年度と同様に高かったから。受診されていない2%の方がどうされているのか、心配です。受診されていない方のフォローがあるとよいと思います。</li><li>・この制度がたくさんの妊婦さんの安心材料となっていると思います。今後、どんどん様々な面で、価格上昇していくと思うので、その点は柔軟に対応していただきたいです。</li><li>・全国の出生数が減っている中で、朝霞市も減少傾向なのではないでしょうか。</li><li>・十分な目標・実績と感ずるため。</li></ul> <p>【B評価】</p> <p>コメントなし</p>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
				A	B	C	D	他
6-(11)	利用者支援事業	A	A	21	4			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・届出数に対して面談数もほぼ網羅できているので評価できると思います。</li> <li>・受けるだけでなく必須で定期的に訪問するなどの体制が必要。</li> <li>・引き続き北朝霞方面への設置をお願いしたい。</li> <li>・必要性が高まっている産後ケア事業の充実を期待する。</li> <li>・子育て支援センターでの支援の確充がされているように感じる。</li> <li>・制度設計及び運用が適切に進められていると思います。</li> <li>・令和7年度以降の具体的な取り組みとして北朝霞方面への設置について検討されること、大変うれしく思います。期待しています。</li> <li>・記載いただいてますが地域差がなく、利用しやすい環境を進めてほしいです。</li> <li>・令和5年より、伴走型相談支援と経済支援の一体的実施を開始し、着実に成果を残している（*令和6年の実績が記載されているが、令和5年の実績も併記してほしい）。</li> <li>・妊婦健診から乳幼児健診までワンストップで可能な施設運営は、組織の強化も含めて評価できる。妊婦との面談率は対象者数に対して96%と良好。</li> <li>・自己評価のとおりで問題ない考える。</li> <li>・面談率は令和5年度の96.3%から95.6%へ低下しているが、高い割合であるから。</li> <li>・利便性が課題にある中で十分な実績数を感じます。</li> </ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値のクリアとしてはAですが、現状1箇所では足りないと思います。子育て世代包括支援センターが1箇所では十分ではないと思います。各子育て世代包括支援センターで利用できると迅速に支援ができるのではないかと思います。</li> <li>・高い数字を得ているので、その後の支援につながったらいいのにとおもいました。</li> <li>・利便性の課題が挙げられ、量及び確保の内容が2か所であるのに対し、実績が1か所となっているため、評価はBと考えました。ただし、妊娠届出数に対する面談実現が95%であるのは評価するところと考えます。</li> <li>・取り組みにもありますが、北朝霞地域にも設置をお願いしたいです。</li> <li>・産後ケアなどの助成金もあると良い。（新座市はあるようです）</li> </ul>							

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(12)	実費徴収に係る補足給付を行う事業	B	B	A	B	C	D	他
				5	19	1		
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・補助額が上がったことはよかったと思います。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経済的に困っている人も240人見込んでいるが、129人しか申請なかったということでしょうか？見込み人数が実際の人数に近いのであれば更に周知は必要かと思う。</li><li>・こども食堂の案内もぜひしてほしい。フードパントリー含む。お金は食費以外に使うこともあるため、お金ではなく物での提供をすべき。</li><li>・申請者数は増加しているが、まだ申請件数を増やすことができるといいと思う。</li><li>・量と見込みと実績の数だけでは本当の問題は見えてこないと思います。どれだけ周知されているのかの対策や数値もあっていいのではと思いました。</li><li>・該当の見込み世帯数ではなく実際の世帯数が分かるとより正確な評価が出来ると思う。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・副食費の補助事業に対して、もう少し保護者が利用できるよう継続的に進めてほしい。</li><li>・対象者でも申請を望まない人がいる可能性もあり、難しさはあると思います。</li><li>・本助成を要する人の見込みに対して53.7%の実績であるのは、周知不足なのか、見込みが多すぎたのかは、精査が必要と考えます。ただし前年よりも実績が上がっているのは評価するところと考えます。</li><li>・対象者の把握、量の見込みに関する見直しも含め適正な利用の推進に期待したい。</li><li>・分かりやすく、申請しやすい状況を望みます。</li><li>・「量の見込み」と実績が大きく乖離している。個別配布など工夫をし、申請件数は増加傾向にあるとのことだが、より有効に補助が行えるよう引き続き、申請方法を工夫する必要がある。</li><li>・急増した前年度並みの水準で、申請者に対する助成ができた。見込み数との差異は、制度の周知が必要か。</li><li>・令和4年度に比べると申請者が多いが、まだ、対象者に対し、申請者が少ないため。保護者へ個別に案内を配布したが、申請が少ない理由を調べ、それに対する対応を取っているのでしょうか。</li><li>・個別への案内という点がとても良いと思います。と同時に必要である家庭に届いていない事もあると思うので、周知が必要だと思います。</li><li>・自己評価のとおりで問題ない考える。</li><li>・R5からR6で個別案内を実施している中、申請者数に変化が多くない点（ですが、根本的に上限4,800円のために工数かけて申請</li></ul>							

する時間、メリットが対象者側にないように感じます)。

【C評価】

・個別に案内して申請が少ないのであれば、自動的に補助されるなど、 申請方法などの見直しも必要。

事業番号	事業名	自己評価	R6 評価案	委員評価内訳				
6-(13)	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	A	A	A	B	C	D	他
				24	1			
コメント	<p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安定した保育を実施するためには必要です。</li><li>・量と見込みと実績の数だけでは本当の問題は見えてこないと思います。どれだけ周知されているのかの対策や数値もあっていいのではと思いました。</li><li>・支援が必要なお子さんが増えてきていると感じています。幼稚園では加配職員が確保できず入園後登園できないケースも見られています。入園前にお子さんのアセスメントを丁寧に実施し、入園後から登園できる体制であるか判断した上で受け入れをしてもらいたい。</li><li>・自己評価が妥当。</li><li>・年々、支援が必要な子どもの受け入れが増加、それにともなう加配に対する補助の充実を感じる。</li><li>・制度設計や運用が適切に進められていると思います。</li><li>・確保の内容を上回る実績であるため、評価は妥当と考えます。</li><li>・実績が一律「2人/月」とすることに疑問、費用として見込みや確保した予算、補助件数等で評価すべきでは？</li><li>・さらに拡充できるよう進めてほしいです。</li><li>・認定こども園特別支援教育・保育経費が適切に活用されている。</li><li>・特別な支援が必要な子どもの受け入れの、保育体制づくりができた。</li><li>・自己評価のとおりで問題ない考える。</li><li>・計画通りに、職員の加配の費用の補助を行ったから。</li><li>・加配が必要な子どもの保護者が安心して預けることができていると思います。</li><li>・必要十分な体制、実施ができているように見えるため。</li></ul> <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・加配職員を置くだけでなく、より良い保育環境の研究が必用。</li></ul>							

≪関連事業≫ コメント一覧（事業担当課と評価は同じ）

事業番号	事業名	コメント
4	里親制度の周知	パネル設置、広報掲載、Twitter・Facebook 掲載など、具体的に周知が実行された点は評価できる。引き続き、里親制度に関する市民への周知を進めていただきたい。
5	家庭児童相談事業	地域の子育て団体と情報共有するためにもっと繋がってほしい。また、地域の子育て団体が気軽に相談できる窓口(対象児童に関する)も作っていただきたい。
13	「特別の教科 道徳」の推進	先生の個人的な考えで授業するのではなく、指導計画にそって、きょうかしよを確実に活用しながら授業が実施されるよう指導されたことがとても評価できる。
14	カウンセリングの実施	AIによる相談機関を検討する時代になってきている。
28	補装具の交付・修理	児童生徒の補聴器は、学習だけでなく、周囲とのコミュニケーションにも大きく影響し学校生活に欠かせないもの。
31	障害者週間における啓発事業	支援学級や支援学校には児童生徒があふれているのに、近所のスーパーや飲食店にはいない違和感にみんなが気づけるようになってほしい。障害者が当たり前で地域で働ける朝霞になるべき。

事業番号	事業名	コメント
32	障害児通所支援事業	放課後等デイサービスが、日常生活のための指導、集団生活への適応訓練なのであれば、障害のない児童も当たり前のように障害がある友達と遊ぶ経験が必要。当初の目的が変わってしまい、障害児が放課後等デイサービスへ追いやられてしまっているかのように、健常者と関わる機会が減っている。
55	多文化共生推進事業	外国籍児の増加に伴い、そのサポートの重要性は大きくなっている。当初予定していた事業の目標値に達していない状況となっているが、その理由を明確化し、持続可能な活動を着実に進展することが望まれる。
58	都市公園、児童遊園地の充実	園庭のない保育所が増加していることや、ボール遊びの禁止等の制限を勘案すると、計画的な整備の拡大や利用方法の検討も含め、事業の充実が望まれる。 また、公園の在り方について、子どもの意見表明に耳を傾ける、そうしたワークショップの開催も充実の要因になると考える。
59	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)	子どもの健やかな発達を考えた時、主体的な遊びを提供できる本事業は大きな可能性があると考え。また、子どもの遊びに付き合う保護者同士の触れ合いは、保護者同士のつながり(育児の情報交換など含め)が生じ、それそのものが子育て支援になっている場合も少なくない。プレーパークは、屋外型の子育て支援施設の側面があることを意識したい。必要に応じて年間予算規模を拡大するなど、子どもの育ちのみならず保護者同士の交流も含め、未来へ投資する視点も重要である。
59	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)	外遊びを促す機会だけでなく、ここ数年居場所としての面も強くなってきています。家族や学校以外の居場所として安心して過ごせる場の1つとして、開催日数を増やす等の工夫をしていただきたいです。特に不登校児の居場所として考えてほしいと思っています。



事業番号	事業名	コメント
66	子育て情報の提供	母子手帳の交付の際や、転入時の配布の際などに産後の居場所の説明(様々な場所がある)、市内で子どもが遊べる場所(室内、室外とも)を説明してほしい。
73	内職相談事業	インターネットでも仕事を探せる時代で、市が行うメリットはあるのか。市にしか紹介できないいい案件が必要。
92	子育て支援センター事業	支援センターに行きたくても子どもがうまく遊べない(人の物をすぐにとってしまったり etc…)家庭であったり、保護者が室内が苦手だったりすると居場所が狭まってしまうので、屋外での開催や屋外で過ごす機会も増やしてほしい。
99	防犯灯設置工事費補助金の交付	補助金を受け取る前に、自治会で工事費を負担するため資金繰りが大変。
100	防犯灯維持管理費補助金の交付	自治会の加入未加入にかかわらず恩恵を受けられる防犯灯の電気代を、補助があるとはいえ自治会費で支払われるのは公平ではない。
114	自転車運転免許制度の実施	2026年4月からの自転車の交通違反制度は16歳以上が対象のため、中学生でもう一度学んでおく必要がある。

## 関連事業≫評価・コメント一覧（事業担当課と評価が異なる場合）

事業番号	事業名	担当課評価	委員評価	理由
9	民生委員・児童委員活動事業	A	C	委員によって活動に差が出ていないか。 地域からの相談に対して、委員が対応できない時、支援が行き届いているか。 欠員地域において孤独死があった。
10	いじめ防止に対する取組	A	B	スマホやインターネットの普及により、児童の性に関する情報が入る年齢が早くなっている。いじめだけではなく、子ども同士の性加害、性被害なども含む事例研修が必用。
12	朝霞“未来・夢”子ども議会	A	B	子ども議会がなくなったことは残念に思う。
15	中学校自由選択制度	A	B	人気の中学校は、生徒があふれ窮屈な思いをしているように感じる。
23	朝霞市小学校低学年複数担任制事業	A	C	様々な個性を持った子ども達が小学生となり先生が大変な思いをしているのもここ数年見えています。完全な複数担任ではない限り、あの状況は改善しないように思えます。
25	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の習得	B	C	男女で協力して、家庭を築くこと、子供を産み育てることの意義を理解するための教育であれば、性教育として臨まない妊娠のリスクや、それに伴う女性の身体への負担(堕胎の場合も含む)、金銭の負担についても学ぶべき。

事業番号	事業名	担当課評価	委員評価	理由
30	生活サポート事業	A	B	市が自己負担額の一部を補助することで、負担は軽減されているが実際サービスを提供できる事業所は少なく、令和6年度に事業を終了した事業所もあり、新たにサービスを受けるための契約をすることすら難しい現状にある。 市として事業を継続・拡大していけるための事業所へのフォローが必要。
41	朝霞市はぐくみ補助金	D	A	はぐくみ補助金に関しては、予算執行されずD判定ですが、担当校である第一中学校のPTAの皆さん、その他14校の保護者代表と学校がしっかりと検討を重ね、発展的解消を選択したものですので、令和6年度の活動としては評価されるべきです。他の事業にも言えますが、無償で活動している保護者の時間を軽く見ていませんか？
58	都市公園、児童遊園地の充実	A	B	公園のベンチの老朽化が放置されていることが多い。
60	学校体育施設の開放	A	B	放課後児童クラブで体育館が利用できていないのは、課が分かれて連携がとれていないからだと思います。普段学童に通う子ども達に開放してほしい。
96	朝霞市ふれあい推進事業	A	D	校区が広いと普段交流のない地域の町内会とのかかわりが負担。学校同士ですら連携が取れていない。日程調整の際他の行事を優先されてしまう。 各校負担軽減のため試行錯誤しているが、うまくいってない校区もある。

事業番号	事業名	担当課評価	委員評価	理由
104	通学路の安全点検	A	C	点検箇所への要望が反映されない。
115	すべての方が利用しやすい公共施設の整備	A	C	公共施設は市民の財産なのに、重要度や健全度などで後回しにされたりします。

**こどもの居場所づくりの推進について**  
**【児童館 with こどもの居場所ネット ～おなか&こころ いいじゃん～】**

1 経緯

こどもの居場所づくり支援の一環として、児童館において中高生タイムを実施している中、食事支援の取組を通して、中高生の居場所づくりや仲間づくりのきっかけとしていただく。

2 こども計画における位置付け

- 1-1-1 多様な困難を抱えるこども・若者の救済
- 1-2-2 こども・若者の意見表明・社会参画
- 2-1-1 すべてのこども・若者が夢を思い描けるまち

3 実施主体

主催：朝霞市社会福祉協議会  
 共催：朝霞市こども未来課  
 協力：朝霞・志木・新座・和光こどもの居場所ネット  
 青少年相談員朝霞市協議会

4 実施日及び実施場所

はまさき児童館	ほんちよう児童館
令和7年10月26日（日）	令和7年11月16日（日）
令和7年12月21日（日）	令和8年 1月18日（日）
令和8年 2月22日（日）	令和8年 3月15日（日）

時間は、すべて午後5時30分から7時まで

5 対象者

中学生・高校生世代

6 食事提供数

1回の開催につき、50食  
 ※ただし、食事はなくなり次第終了

7 相談・仲間づくり支援・意見表明

- ・青少年相談員には、中学生・高校生世代のお兄さん、お姉さんの存在として一緒に遊んだり、話し相手になっていただく。
- ・こども・若者の意見表明、相談機会の確保として、市アンケートフォームを活用した「中高生つぶやき広場」を併せて実施する。

10月26日（日）はまさき児童館での様子





# 児童館withこどもの居場所ネット ～おなか&こころ いいじゃん～



朝霞市児童館の中高生  
タイムの一環として、  
中高生世代の方に食事等  
を提供し、若者の居場所  
づくりや仲間づくりの  
きっかけとします。

対象：中学生・

高校生世代のみなさん

はまさき児童館

10月26日(日)

12月21日(日)

2月22日(日)

ほんちょう児童館

11月16日(日)

1月18日(日)

3月15日(日)

はまさき児童館も

ほんちょう児童館も

時間は17:30～19:00

- ※事前申し込みは必要ありません。
- ※1回の開催につき50食を用意します。
- ※食事は無くなり次第終了します。



はまさき児童館 TEL:048-486-2477

ほんちょう児童館 TEL:048-487-8582

協力：朝霞・志木・新座・和光こどもの居場所ネット（食事を提供していただきます）

青少年相談員朝霞市協議会（楽しく遊んだり、おしゃべりしましょう）

主催：朝霞市社会福祉協議会 共催：朝霞市こども未来課



# 朝霞市中高生タイム

☆彡中高生

つぶやき広場☆彡

今日は参加してくれてありがとう!! 参加してみての感想や  
あなたの思いを聞かせてね!!

気分転換する??

あんなことやこんなこと  
もしてみたいな!!

今度は友達と一緒に!?

・・・4月20日  
アキタ



こちらの二次元バーコードを  
読み込んでアクセスしてみてね～



**子育て支援団体と連携したイベントの実施について**  
**【みんなでにこにこ広場フェス】**

**1 経緯**

豊かな経験から得るこども・若者の自らの育ちを支援するため、地域の関係機関と連携し、多様な学びの場、体験の機会を提供するとともに、子育て中の保護者同士が交流を持ち、子育ての悩みの解決や子育て経験者による助言や手助けを得られやすい環境整備など、地域の子育てネットワーク作りを推進する一環として、地域子育て団体と連携した取組を実施する。

**2 こども計画における位置付け**

- 2-1-3 こども・若者の多様な遊びや体験ができる機会の充実
- 3-3-1 子育てがしやすいまちづくり
- 3-3-3 こども・子育てに温かい（地域）社会への機運醸成

**3 実施主体**

主催：あさか子育てネットワーク  
共催：朝霞市こども未来課  
協力：朝霞市社会福祉協議会

**4 実施日及び実施場所**

令和7年11月30日（日） 午前10時から午後2時30分まで  
朝霞市みぞぬま児童館、溝沼保育園園庭  
※児童館、保育園の休所日を利用して実施

**5 対象者**

乳幼児、子ども、子育て中のママ、パパ など

**6 内容**

別添資料のとおり

**7 その他**

本取組は令和5年度、6年度に続き3回目の実施



# 朝霞市の12サークル大集合

**無料！**

赤ちゃんから小学生  
パパ、ママ也大歓迎！

今年も！

ピアノのしょうちゃんと歌おう！  
古田将太郎さん

●おへそバンドも  
来るよ！



みんな大好き  
フレイパーク



ボクササイズ  
紙コップタワー  
ジャンボオセロ  
Qマス鬼ごっこ  
多言語さかなつり  
等



お子さま限定！  
スタンプラリーで  
おにぎり1つプレゼント  
先着300個

## みんなでここにこ広場

バッチ作り  
風船てっぽう作り等  
手作りコーナー  
(作ったものを飛ばして遊ぶよ)



小学生におすすめ  
世界のテーブルゲーム



赤ちゃん、パパ、ママにおすすめ  
骨盤エクササイズ、  
抱っこひも調整、タッチケア  
くつえらびのコツ等



絵本の読み聞かせ

パンの販売、  
お団子の実演販売等、  
有料販売あります！  
★売り切れ次第終了



# 2025.11.30(日)

10:00～14:30

最終入場 14:00

駐車場：JAあさか野朝霞支店

会場：みぞめま児童館  
溝沼保育園園庭

溝沼市民センター1階ホール  
(飲食はこちらをご利用ください)

主催) あさか子育てネットワーク

協力) 朝霞市、朝霞市社会福祉協議会、(医)こころづ会、  
マルエツ朝霞店、JAあさか野朝霞支店、武蔵野穀販、  
こみゆにていめしや、フーランジェリーアール、  
CafeCOZY、麦彩工房、あさかニコまるパントリー (順不同)

ホームページ

インスタグラム

公式LINE



※一部内容が変更になることが  
あります。ご了承ください。  
詳しくはホームページをご覧ください。

**こどもの貧困対策に資する取組の実施について**  
**【冬休みこども応援 フード・ドライブキャンペーン】**

**1 経緯**

冬休み期間を迎えるにあたり、市内のこども食堂及びフードパントリーの活動を支援するため、食材の確保方策としてフード・ドライブを実施する。

※本取組は夏休み前、冬休み前の年2回開催

**2 こども計画における位置付け**

2-1-1 こども・若者が安心して過ごせる居場所づくり

3-2-1 経済的困難を抱える家庭と保護者への支援

3-2-2 ひとり親家庭等への支援

**3 実施主体**

主催：朝霞ロータリークラブ、朝霞ライオンズクラブ、フタバスポーツ、読売新聞朝霞支部、りそなグループ、マルエツ朝霞店、朝霞・志木・新座・和光こどもの居場所ネット

共催：朝霞市こども未来課

協力：朝霞市社会福祉協議会

**4 実施日及び実施場所**

令和7年11月29日（土） 午前10時から正午まで

①朝霞市役所 正面駐車場 花の池テラス

②フタバスポーツ朝霞本店

③マルエツ朝霞店

④朝霞市リサイクルプラザ 駐車場

⑤読売センター朝霞南／西・北朝霞・志木東部・和光

※②、③、⑤は事前受付あり

**5 対象者**

どなたでも

**6 内容**

別添資料のとおり

## 7 その他

- ・本取組は令和3年度から開始し、今回で7回目の実施となります。
- ・こども食堂及びフードパントリーの活動は、さまざまな事情により食事を取ることができないこどもたちに、無料または低価格で食事等の提供を行うものです。
- ・こども食堂等の安定的な運営、冬休み前の食材の確保のため、市内企業等がこどもたちのために行っていただく活動と、こども食堂とを市がマッチングし、側面的な支援を行います。
- ・集まった食材は、各こども食堂等の活動において、こどもたちのために活用させていただきます。



あなたの親切で子ども達を😊に！

# フード・ドライブ キャンペーン

11.29<sup>土</sup>  
10時～12時

受付会場

## 朝霞会場①

朝霞市役所  
正面駐車場  
花の池テラス

## 朝霞会場②

フタバスポーツ  
朝霞本店

当日・事前受付10時  
～20時まで受付

## 朝霞会場③

マルエツ朝霞店

当日・21日より  
事前受付  
10時～22時まで受付

## 北朝霞会場

朝霞市  
リサイクルプラザ  
駐車場

## 読売新聞受付

①YC朝霞南/西②  
YC北朝霞③YC志  
木東部④YC和光

当日・事前受付日祝を除く  
10時～17時受付

## フード・ドライブキャンペーンとは？

主に各家庭で消費しきれない食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付する活動です。

## 集まった食材は「朝霞・志木・新座・和光こどもの居場所ネット」へ寄付します！

☆朝霞市☆子ども食堂…あさかニコまる食堂/あさかみらいこども食堂/おへそ食堂/ゆしゅまっふ朝霞こども食堂/わ・和・輪の会(わ・和・輪の会子ども食堂)/こみゅにていめしや/学生ボランティア団体「みなもと」(みなもと食堂)/☆フードパントリー…朝霞子育て応援フードパントリー本町・溝沼・朝志ヶ丘・根岸台/あさかニコまるパントリー  
☆新座市…まぜこぜたい(まぜこぜ食堂)  
☆和光市…NPO法人わこうフードネットワーク

居場所ネットの団体(2025年10月現在14団体) ※( )内は食堂名

## 寄付品条件

【食料品】

未開封、常温保存可能な品物、賞味期限が  
最短でも2026年3月以降のもの

頂いたお品物につきましては、12月  
頃～順次必要としている子ども達、  
子育て世帯のご家庭にお渡しします

主催

朝霞ロータリークラブ/朝霞ライオンズクラブ/フタバスポーツ/読売新聞朝霞支部/リそなグループ/マルエツ朝霞店/  
朝霞・志木・新座・和光こどもの居場所ネット

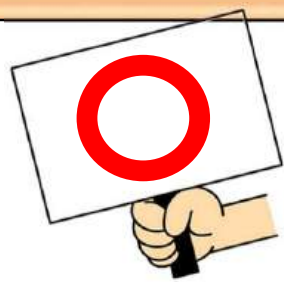
協力

朝霞市子ども未来課/(福)朝霞市社会福祉協議会/朝霞市商工会/朝霞法人会朝霞支部/かつみ不動産㈱/埼玉県朝霞警察署/巣鴨信用金庫朝霞台支店/埼玉縣信用金庫朝霞支店/東和銀行朝霞支店/東京信用金庫朝霞支店/きらぼし銀行朝霞支店/飯能信用金庫朝霞支店/武蔵野銀行朝霞支店/(株)ガス検/センチュリー21登喜和朝霞駅前店/ゆうちょ銀行朝霞店/(株)リゾン/五島工業(株)/日建総業(株)/大村商事(株)/(株)フナミズ羽型製版/朝霞本町商店会/朝霞駅前商店会/仲町商工振興会/朝霞食いち/埼玉県立朝霞西高等学校



# ★寄付品諸条件★

寄付頂く物に関しましては以下の条件にご注意の上、お持ち下さい



## お持ち頂けると非常に助かります!

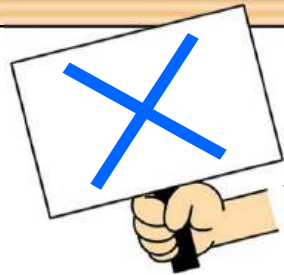
食料品は未開封品  
常温保存可能品  
賞味期限明記の物



賞味期限が  
**2026年3月**  
以降



調味料や調理素材の他、「レンジで温めるだけ」、「お湯を注ぐだけ」など、子供達が自分で簡単に調理できるレトルト食品も喜ばれます!

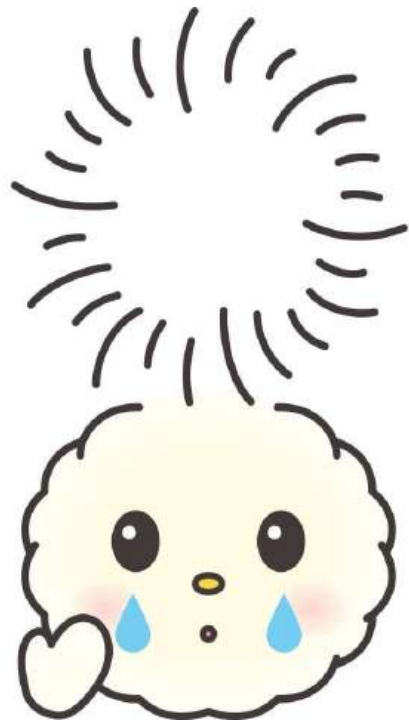


すみません...  
せっかくですが

## お断りさせていただきます!

開封されている食料品  
外装、パッケージが  
破損している食料品  
冷蔵・冷凍食品、  
生鮮食品

賞味期限が  
**2026年2月末まで**



スポーツ用品、衣類、  
おもちゃ類、衛生用品は  
ご遠慮願います

その他、ご判断に困るものがございましたら  
事前にお問い合わせください

朝霞市こども未来課  
TEL 048-463-2930

2025年11月29日(土) 10:00~12:00

朝霞・志木・新座・和光こどもの居場所ネット



詳細はこちらから!



## 土曜日共同保育実証実験結果

実施期間:令和7年8月9日～10月18日(11日間)

実施施設:浜崎保育園、さくら保育園(実施場所)

### □実施効果

#### ・職員配置

93名の削減(1日当たり8.4名)

通常時配置数198名→共同保育時配置数105名

#### ・運営経費(人件費除く)

129,644 円の削減(1日当たり11,785 円)

光熱水費削減額 105,367 円

給食賄材料費削減額 24,277 円

### □アンケート結果

#### ・保護者アンケート(回答率57%)

約85%が負担に感じないと回答

土曜保育の利用者に限っても約58%が負担に感じないと回答

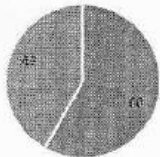
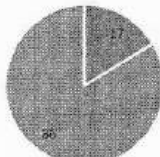
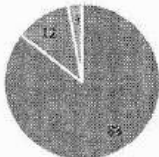
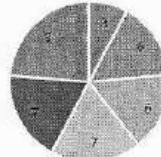
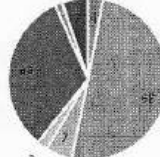
土曜日に登園可能な保育園として、溝沼保育園との回答が約66%で最多

#### ・職員アンケート(回答率73%)

約77%が労働環境改善に効果があったと回答

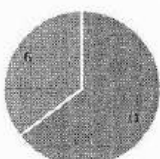
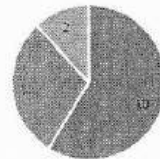
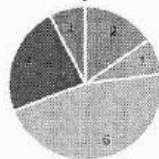
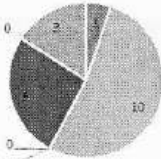
保護者アンケート結果（全体）

実施期間：令和7年10月20日(月)～27日(月) 対象人数：179人 回答数：103人(57%)

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5
在籍されている保育園を教えてください。	共同保育期間中に土曜日保育を利用されたか教えてください。	利用に関してご負担に感じられたか教えてください。	負担に感じた・少し負担に感じたとお答えした方にお聞きします。ご負担に感じたことを教えてください。	土曜日のみ登園可能な公立保育園を教えてください。
				
<input type="checkbox"/> さくら保育園 60 (58.3) <input type="checkbox"/> 浜崎保育園 43 (41.7)	<input type="checkbox"/> 利用した 17 <input type="checkbox"/> 利用しなかった 86	<input type="checkbox"/> 特に感じなかった 88 <input type="checkbox"/> 少し負担に感じた 12 <input type="checkbox"/> 負担に感じた 3	<input type="checkbox"/> 保育園との連絡 3 <input type="checkbox"/> 持ち物や準備 6 <input type="checkbox"/> 慣れない施設 6 <input type="checkbox"/> 子どもが負担そうであった 7 <input type="checkbox"/> 登降園 7 <input type="checkbox"/> その他 9	<input type="checkbox"/> 東朝霞保育園 4 <input type="checkbox"/> 溝沼保育園 68 <input type="checkbox"/> 本町保育園 7 <input type="checkbox"/> 根岸台保育園 3 <input type="checkbox"/> 北朝霞保育園 44 <input type="checkbox"/> 栄町保育園 2 <input type="checkbox"/> 泉水保育園 7

保護者アンケート結果（土曜日利用者）

[17名]

在籍されている保育園を教えてください。	利用に関してご負担に感じられたか教えてください。	負担に感じた・少し負担に感じたとお答えした方にお聞きします。ご負担に感じたことを教えてください。	土曜日のみ登園可能な公立保育園を教えてください。
			
<input type="checkbox"/> さくら保育園 11 <input type="checkbox"/> 浜崎保育園 6	<input type="checkbox"/> 特に感じなかった 10 <input type="checkbox"/> 少し負担に感じた 5 <input type="checkbox"/> 負担に感じた 2	<input type="checkbox"/> 保育園との連絡 0 <input type="checkbox"/> 持ち物や準備 2 <input type="checkbox"/> 慣れない施設 1 <input type="checkbox"/> 子どもが負担そうであった 6 <input type="checkbox"/> 登降園 3 <input type="checkbox"/> その他 1	<input type="checkbox"/> 東朝霞保育園 1 <input type="checkbox"/> 溝沼保育園 10 <input type="checkbox"/> 本町保育園 0 <input type="checkbox"/> 根岸台保育園 0 <input type="checkbox"/> 北朝霞保育園 5 <input type="checkbox"/> 栄町保育園 0 <input type="checkbox"/> 泉水保育園 3